

3. 原子力災害とは？

岐阜県周辺の原子力発電所は？

岐阜県は、最寄りの敦賀発電所から県境まで25キロの位置にあります。

また、県境から30キロ以内には、敦賀発電所のほか3つの原子力事業所があります。

また、平成24年の「原子力災害対策特別措置法」の改正により、本県はこれら原子力事業所の関係周辺都道府県として法的に位置付けられ、原子力防災対策を積極的に進めているところです。



原子力災害の特殊性とは？

原子力災害による放射線の影響は、地震、風水害、火災などとは違い、五感に感じる事ができず、身体への影響の程度や、どのように行動すればよいのか、判断が難しいという点があります。

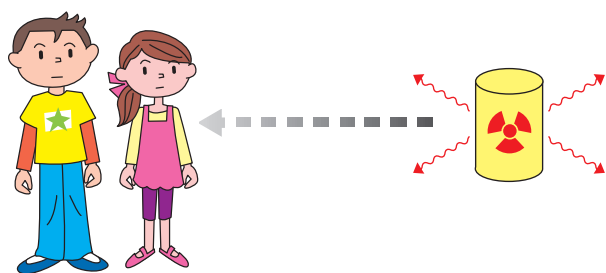
外部からの放射線から身を守るには、放射性物質から距離を取る、放射線を受ける時間を短くする、放射線を遮るなどの方法があります。

体の中から受けることから身を守るには、体の中に放射性物質が入らないようにマスクをしたり、放射性物質が決められた量より多く入ったりした水や食べ物をとらないように気を付けたりすることが大切です。

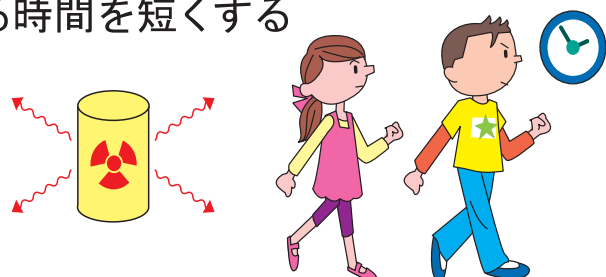


放射線から身を守る方法

①放射性物質から離れる

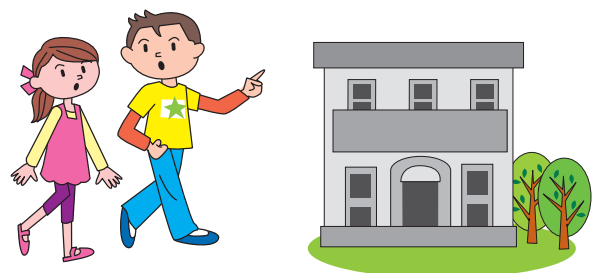


②放射線を受ける時間を短くする



③コンクリートなどの建物の中に入る

▪ (木造よりコンクリートの方が放射線を通しません)



放射性物質から身を守る方法

空気を直接吸い込まない

(マスクやハンカチで口をふさぎます)



決められた量より多くの放射性物質が付いたりした可能性があるとして制限された食べ物や飲み物はとらない

